

## 環境の充実について

1. 新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方（国の方針）
2. 学校施設について
3. 他の公共施設の複合化・共用化
4. プールについて
5. 給食について

## ■ 文部科学省「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について（最終報告）」



### 【新しい時代の学び舎として創意工夫により特色・魅力を発揮】



#### 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向け、柔軟で創造的な学習空間を実現

- ⇒ 1人1台端末環境等に対応した机を配置し、多様な学習を展開できる教室環境の整備
- ⇒ 個別学習や少人数学習など柔軟に対応できる多目的スペース、学習支援、教育相談等の環境整備
- ⇒ 教職員のコミュニケーション・リフレッシュの場（ラウンジ）、映像編集空間（スタジオ）の整備

（教室・教室周辺の空間の改善・充実に関する創意工夫の例）



#### 新しい生活様式を踏まえ、健やかな学習・生活空間を実現

- ⇒ 居場所となる温かみのあるリビング空間（小教室・コーナー、室内への木材利用）
- ⇒ 空調設備の整備、トイレの洋式化・乾式化、手洗い設備の非接触化



#### 地域や社会と連携・協働し、ともに創造する共創空間を実現

- ⇒ 地域の人たちと連携・協働していく活動・交流拠点として「共創空間」を創出
- ⇒ 地域の実情等に応じた他の公共施設等との複合化・共用化等

### 【新しい時代の学び舎の土台として着実に整備を推進】



#### 子供たちの生命を守り抜く、安全・安心な教育環境を実現

- ⇒ 老朽化対策等により、安全・安心な教育環境を確保
- ⇒ 避難所として自家発電・情報通信設備、バリアフリー、水害対策等の防災機能を強化



#### 脱炭素社会の実現に貢献する、持続可能な教育環境を実現

- ⇒ 屋根や外壁の高断熱化や高効率照明などの省エネルギー化、太陽光発電設備の導入の促進により、ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）を推進
- ⇒ 環境や地域との共生の観点から学校における木材利用（木造化、室内利用）を推進

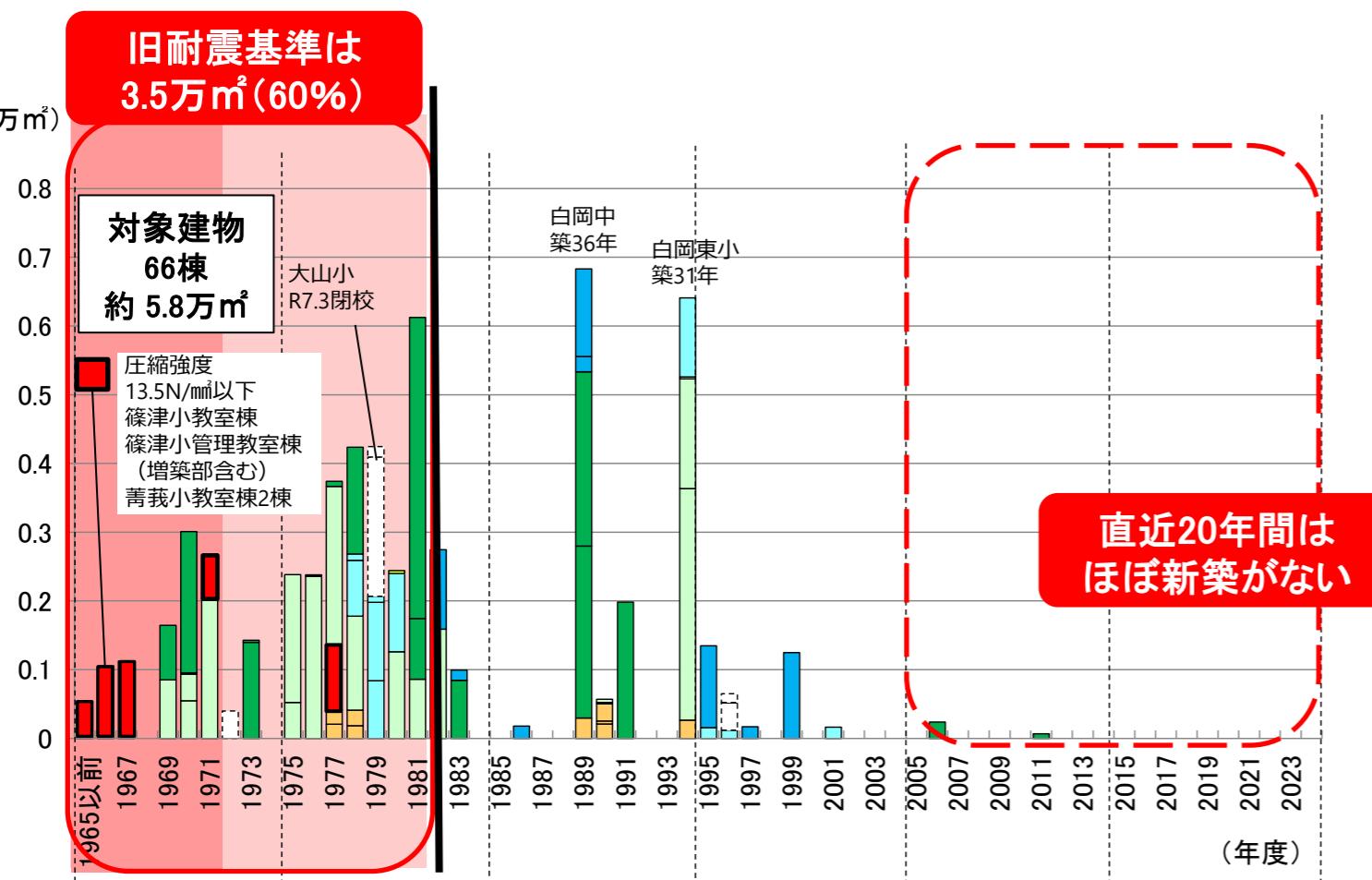
## ① 学校教育施設状況

- 小学校5校、中学校4校、延床面積57,863m<sup>2</sup>
- 令和7年3月に大山小学校（1972年築、3,150m<sup>2</sup>）を閉校。
- 旧耐震基準の棟が延べ3.5万m<sup>2</sup>が全体の60%を占める。全て耐震補強済。
- 耐震診断時の圧縮強度が13.5N/mm<sup>2</sup>を下回る建物が5棟あり、それらは建替えが必要。
- 昭和46年以前の建物（11棟 延べ1.0万m<sup>2</sup>）はより古い基準の建物のため、躯体の健全性を確認し、改修コストとの比較検討の上、建替えが望ましい。
- 最も新しい白岡東小でも築31年であり、それ以降の校舎の新築はほとんどない。

### ●対象施設

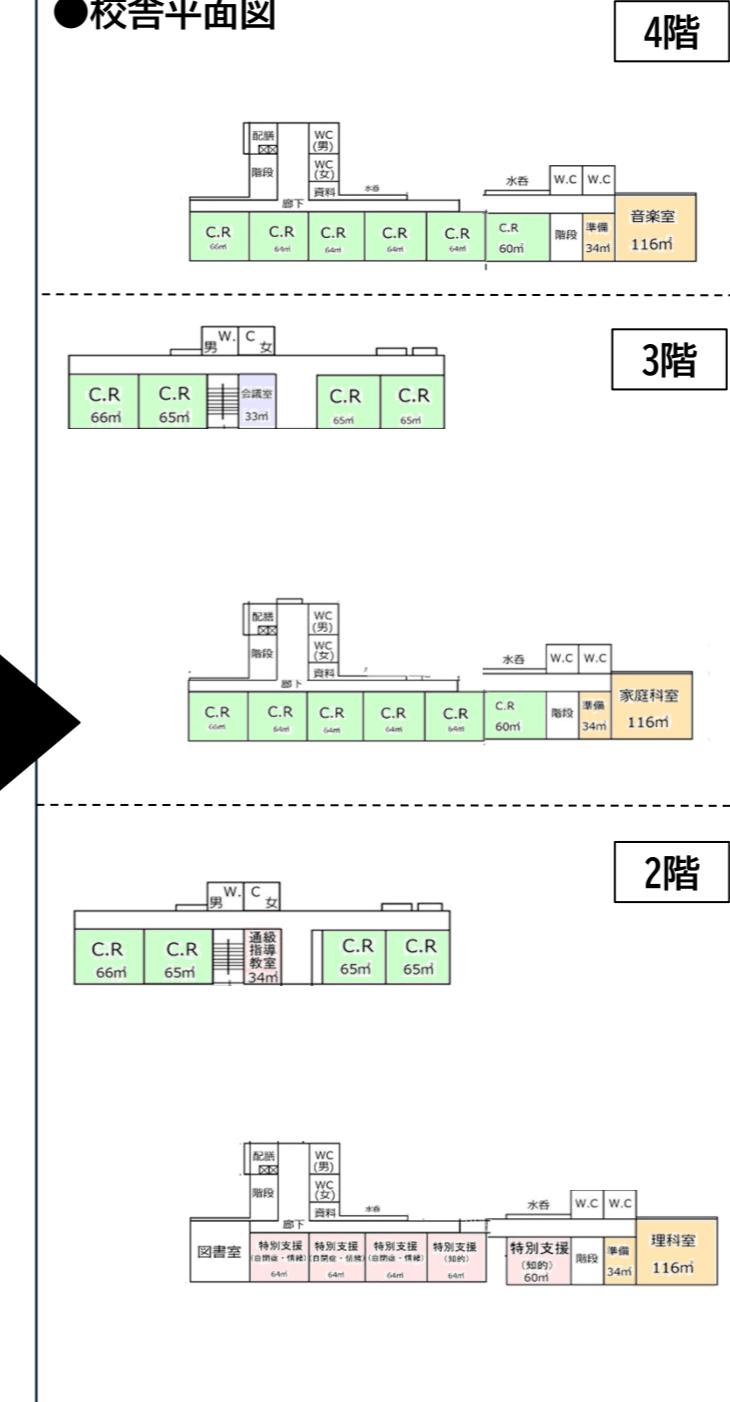
	棟種	校種	棟数（棟）	延床面積（m <sup>2</sup> ）	割合
対象棟	校舎	小学校	19	25,211	43.6%
		中学校	12	19,229	33.2%
		総計	31	44,440	76.8%
	体育館	小学校	5	5,081	8.8%
		中学校	8	5,588	9.7%
		総計	13	10,669	18.4%
	給食室		10	1,912	3.3%
	付属屋※		12	842	1.5%
	合計		66	57,863	

### ●築年別整備状況

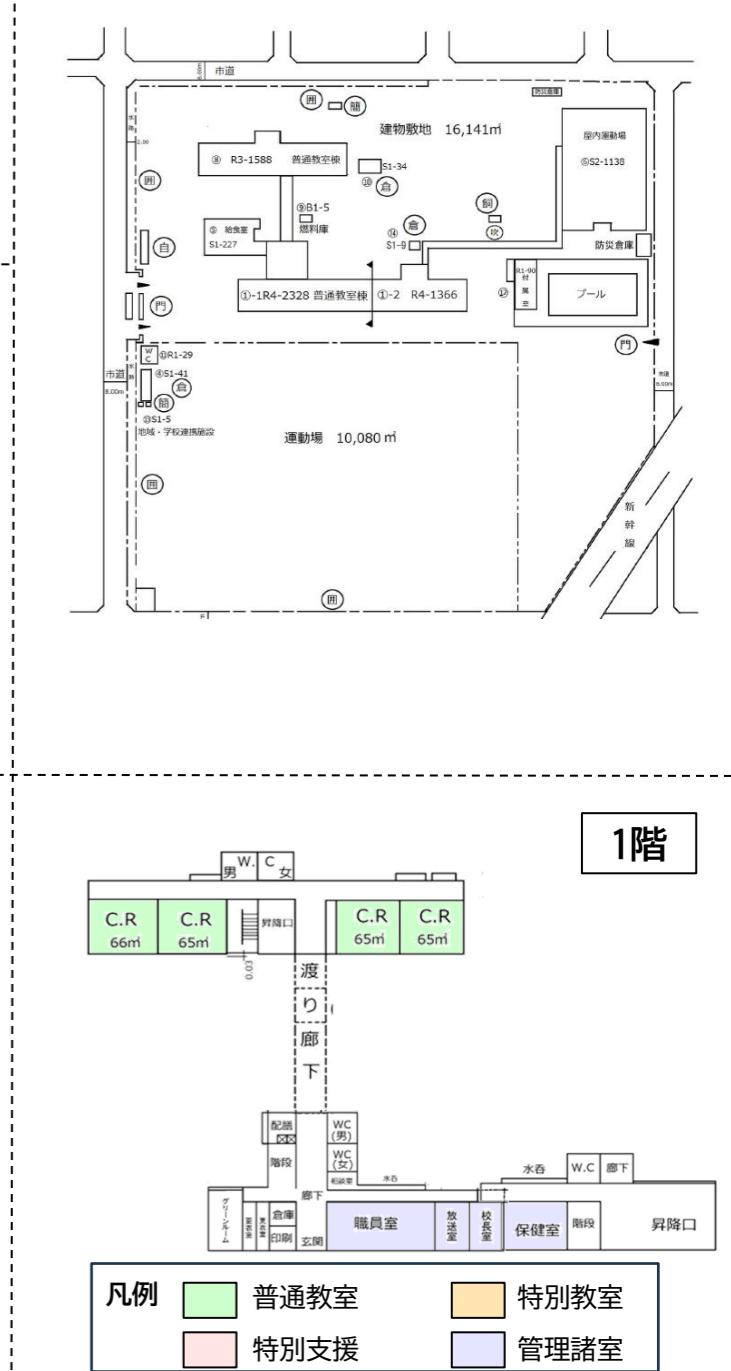


## ② 一般的な学校の教室配置（西小学校の例）

### ●校舎平面図



### ●施設配置図



### ■校舎配置の課題

- 片廊下式の教室で、1つの空間で一斉に黒板を向いて受けるスタイルで設計されており、教師と子どもが繋がるような、探求的な学習が考慮された設計にはなっていない。
- 教室面積は65m<sup>2</sup>程度となっており、タブレット学習に対応した新JIS規格（65cm×45cm）の机が35人分入ると狭い。さらに、大型モニターやタブレット保管庫、収納などのスペースも教室内で求められるようになっている。
- 共用スペースが廊下に限られ、休み時間に交流を行えるようなスペースがない。

現状の校舎  
では、新しい教育には、  
対応しきれ  
ない

## ③ 学校施設の現状

## 建物情報一覧

■:帯筋間隔改正前  
(1971年以前)  
■:旧耐震基準  
(1981年以前)  
RC:鉄筋コンクリート造  
S:鉄骨造

躯体の健全性  
■:低圧強度  
A:概ね良好  
B:部分的に劣化  
C:広範囲に劣化  
D:早急に対応する必要がある

劣化状況評価は、個別施設計画(R2年)の簡易調査結果

施設名	建物名	構造	延床面積(m <sup>2</sup> )	建築年度	築年数	構造躯体の健全性			劣化状況評価(2020年)								
						長寿命化判定			基準	(N/mm <sup>2</sup> )	試算分の上位	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度(100点満点)
						西暦	和暦	基準									
篠津小学校	教室棟	RC	541	1965	S40	60	旧	10.2	要調査	B	C	B	C	D	46		
	教室棟	RC	547	1970	S45	55	旧	16.2	長寿命	B	C	C	C	D	35		
	管理教室棟	RC	1,056	1966	S41	59	旧	11.1	要調査	B	C	C	C	D	35		
	管理教室棟	RC	1,124	1967	S42	58	旧	9.9	要調査	B	C	C	C	D	35		
	特別教室棟	RC	389	1970	S45	55	旧	26.0	長寿命	B	C	B	C	D	46		
	屋内運動場	S	840	1979	S54	46	旧	-	長寿命	B	B	A	C	D	62		
	給食室	RC	186	1978	S53	47	旧	22.4	長寿命	B	B	A	C	D	62		
	昇降口	SRC	47	1990	H2	35	新	-	長寿命	B	C	B	C	-	58		
西小学校	普通教室棟	RC	2,328	1977	S52	48	旧	18.9	長寿命	B	B	B	C	D	54		
	普通教室棟	RC	1,366	1978	S53	47	旧	18.9	長寿命	B	B	B	C	D	54		
	普通教室棟	RC	1,588	1982	S57	43	新	-	長寿命	D	D	B	B	D	40		
	屋内運動場	S	1,138	1980	S55	45	旧	-	長寿命	B	B	A	B	D	67		
	給食室	S	227	1978	S53	47	旧	-	長寿命	B	B	A	C	C	69		
白岡東小学校	普通教室棟	RC	3,370	1994	H6	31	新	-	長寿命	B	B	A	B	B	83		
	特別教室棟	RC	1,596	1994	H6	31	新	-	長寿命	B	B	A	B	B	83		
	屋内運動場	RC	1,152	1994	H6	31	新	-	長寿命	B	B	A	B	B	83		
	給食室	RC	266	1994	H6	31	新	-	長寿命	B	B	A	B	B	83		
篠津中学校	教室棟	RC	794	1969	S44	56	旧	21.4	長寿命	B	C	B	C	D	46		
	教室棟	RC	1,551	1978	S53	47	旧	18.0	長寿命	C	A	B	C	D	57		
	教室棟	RC	885	1981	S56	44	旧	-	長寿命	A	B	B	B	D	60		
	特別教室棟・給食室	RC	1,984	1991	H3	34	新	-	長寿命	B	B	A	B	B	83		
	屋内運動場	RC	1,249	1999	H11	26	新	-	長寿命	B	B	A	A	A	93		

主な劣化状況(令和7年現地確認) ➡ 篠津小、西小、白岡東小、篠津中の4校を専門家が目視確認



- 校舎は劣化が進行してからの部分的な改修となっており、事後保全になっている。西小学校の一部がD評価となっており、計画的保全に切り替える必要がある。
- 築年の新しい白岡東小学校は、劣化が顕在化し、全体的に改修を行う時期を迎えており、全体的に改修を行っており、良好な状況を維持している。
- 各校の劣化状況を詳細に把握する必要がある。

## 整備レベル評価指標（案）

整備項目	1 (未実施)	2 (やや低い)	3 (標準)	4 (やや高い)	5 (高い)
	未対応、未整備	部分的な対応	確保すべき標準的なレベル	目指すべき整備レベル	さらに高い整備レベル
安全・安心	非構部材の耐震性	・未対応	・標準のいすれかが未対応	・特定天井 ・吊り型照明 ・バスケットゴール	・非構部材A類 (全面更新)
	防犯対策	・未対応	・標準のいすれかが未対応	・防犯カメラ ・オートロック ・校内インターフォン	標準の項目に加え ・機械警備(休日、夜間)
学習環境・生活環境	情報化(ICT)	・未整備	・校内LAN整備	・校内LAN整備 ・電子黒板(大型モニター、プロジェクター) ・新JIS規格の机	標準の項目に加え ・教室の大きさ
	学習形態	・未整備	・標準のいすれかが未対応	・情報センター ・多目的・少人数教室	やや高いの項目に加え ・メディアセンター ・オープンスペース
バリアフリー対応(移動)	生活環境(トイレ)	・和式のみ	・標準のいすれかが未対応	・過半の洋式化 ・ドライ化・洋式化 ・節水型便器	やや高いの項目に加え ・壁・天井改修 ・照明器具(人感センサー)
	バリアフリー対応(多目的トイレ)	・未対応	・標準のいすれかが未対応	・敷地境界から建物、玄関から事務室までのスロープ対応 ・階段手すり	やや高いの項目に加え ・バリアフリー対応工 レベーターの設置 ・建築物移動等円滑化基準の適合
地域連携	防災機能	・未整備	・標準のいすれかが未対応	・多目的トイレ、オストメイトの設置(1学校1室以上)	・各階に設置
	地域利用	・地域連携なし ・学校開放なし	・1学校に1室の多目的トイレ	・普通、特別教室 ・体育館アリーナ	・諸室全般
環境配慮	他の公共施設との複合化	・複合化なし			
	断熱性(外部開口部)	・未対応	・部分的	・防災開戸 ・遮断弁付き受水槽	やや高いの項目に加え ・災害用トイレ整備
(屋根・外壁)					
		・未対応		・断熱化(内断熱)	やや高いの項目に加え ・省エネ基準適合
設備の高効率化				・高断熱化(内断熱、外断熱)	
		・未対応	・標準のいすれかが未対応	・校内LED化 ・ヒートポンプ等空調 ・節水便器、自動水栓	やや高いの項目に加え ・高COP空調
再生・創エネ		・太陽光発電設置なし			・太陽光発電(蓄電池含む)
	木材利用	・木材利用なし ・木の木質化	・教室・廊下等の床の木質化	・教室・廊下等の床・腰壁の木質化	・内装の木質化 (市産材を使用)

篠津小、西小、白岡東小、篠津中の4校を専門家が目視確認

一般的な標準レベル

多目的に活用

学習環境：学習形態



多目的ホール (124m<sup>2</sup>) (白岡東小)

生活環境：トイレ



ほぼ全校が和洋混在となっている  
床はウェット(湿式) (篠津小)

生活環境：多目的トイレ



多目的トイレ (篠津中)  
大半の学校に多目的トイレは設置なし。

生活環境：熱中症対策



アリーナの冷暖房 (篠津小)

地域連携：地域利用



ナイター照明設置 (西小)

環境配慮：設備の高効率化



アリーナのLED照明 (篠津中)



自動水栓 (西小)

安全・安心：非構部材の耐震性

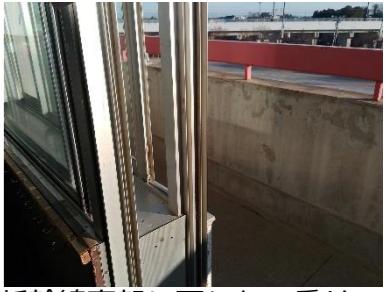


大半の学校で黒板が吊り型照明となつておらず未対応 (篠津小)



スロープ (西小)

環境配慮：断熱性(外部開口部)



新幹線高架に面した二重サッシ (西小)



屋上一面に太陽光発電 (西小)

- 文部科学省の通達において、トイレ改修、近年の暑さに対する熱中症対策は教室、特別教室、体育館アリーナも含めて対応しており、各校に大差はない。
- バリアフリー(多目的トイレ、エレベーター)、地域の避難所となる防災機能、省エネ化が未対応となっている。一部の学校では太陽光発電が整備されている。
- 現在求められているレベルに届いていない。(学習環境面では、築年の新しい白岡東小学校では、多目的ホールが整備されているが、教室の広さ、図書室のメディアセンター化、教室以外の居場所、機能的な職員室、地域との交流等)既存建物では対応しきれない。
- 全校の整備レベルを把握し、将来の学校像に応じた整備レベルを設定する必要がある。

## ④ 整備事例

## 個別最適な学び

児童生徒の自主的な学習活動を支える空間

# 複数のクラスで フロアをのびやかに使う

～多様な学びを支える教室まわり～

## ◆◆◆ アイディアの要点 ◆◆◆

- 同学年あるいは、低学年、中学年、高学年ごとに、普通教室＋多目的スペース（少人数指導のためのスペースを含む）などから構成されるユニットをつくるもの。
- 学年段階に応じたユニットの空間構成とすることで、総合的な学習の時間における調べ学習や習熟度に応じた学習、またチーム・ティーチング<sup>注3</sup>、などを効率的に展開することができる。

## ■期待される効果

## 多様な学習集団・学習形態に対応

- ・普通教室と多目的スペースが連続しているため、総合的な学習の時間での調べ学習や習熟度別学習、チーム・ティーチングなど学習集団・学習形態の変更を行いやすい。



## 学習に対する動機づけとなる空間

- ・多目的スペースに学習のための多様な教材等を用意し、教科の進行に対応した掲示・展示を行うことにより、子どもたちに学習内容に対する興味を抱かせるなど、学習に対する動機づけをする空間となる。

子どもたちの  
憩いの空間づくり

- ・多目的スペースの一画にベンチやソファを置くことなどにより、子どもたちが自然と集まり、憩える空間を設けることができる。そこでの幅広い交流が、社会性や豊かな人間性の育成につながると考えられる。

注3

## ● チーム・ティーチング ●

Team Teaching：複数の教師が指導計画の作成、授業の実施、教育評価などに協力してあたること。

出典：三省堂刊「大辞林」

## ■計画のポイント

## 学年段階に応じたユニットづくり

- ・ユニット内に、教師コーナーや教材室等を設けることにより、学習空間を整ったものに維持することができる。
- ・学年段階に応じた学習活動を行いやすいよう、ユニットを構成する空間や間仕切りの在り方を学年ごとに適切なものとする。

## 普通教室と多目的スペースとの連続性

- ・普通教室と多目的スペースなどを連続的あるいは一体的に使う学習も想定し、またその際には、先生の視野になるべく活動全体が入るように、普通教室と多目的スペースとの間の間仕切りの在り方（仕切りなく開放的にする、可動間仕切りにより開閉可能とする、見通しの良い透明の間仕切りを設ける等）を考える。

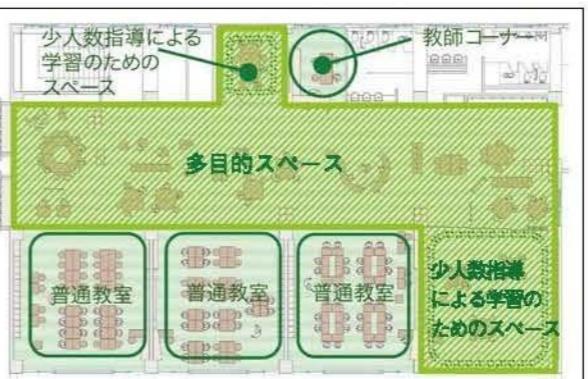


図2-1 ユニットの構成例 (東京都武藏野市立大野田小学校)



## ■補足説明

- ・一時的に学級数が増加しても学年としてのまとまりを維持できるよう、普通教室としても使用できるスペースをユニット内に予め設けておくこと等も考えられる。

p.63 「26. 長く使い続けられる学校」参照

## 家具や備品の計画

- ・多目的スペースには、少人数指導などのための机、いすや可動式掲示板などを配置し、学習活動を豊かなものとする。

ICT<sup>注1</sup>環境の充実

- ・多目的スペースの一画にコンピュータが利用できるスペースを設けたり、授業の際にノート型のコンピュータを設置できるようにすることで、教室の近くで調べ学習等を行うことができる。

p.21 「7. ICTで学習活動が広がる」参照

## 各空間での音のコントロール

- ・普通教室および少人数指導のためのスペースでは、静かな学習環境も確保できるよう、周囲との区画の方法や天井、床等の材質について音の伝わり方に配慮する。

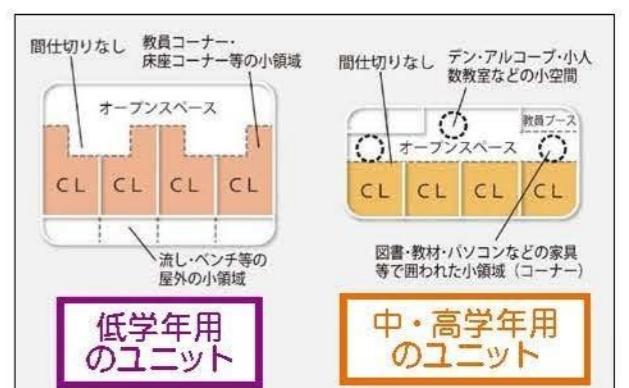


図2-2 学年段階に応じたユニットの変化例 (広島県府中市立府中小学校・府中中学校)



## ■効果的に利用するための注意点

- ・ユニットを利用して実施したい学習形態について、計画段階から関係者間で共通理解を図り、授業の際に同じユニットの先生同士で協力体制をとる。

## ④ 整備事例

## 協働的な学び

児童生徒の自主的な学習活動を支える空間

# すぐに集まつたり 分かれたり

～少人数指導などのための小空間を身近に作る～

## ◆◆◆ アイディアの要点 ◆◆◆

- 少人数指導などのための小空間を、普通教室などの近くに設けるもの。
- 授業の中で、個別又は少人数での学習が必要となったときに、他の学習集団と完全に切り離さずに、かつ、少人数でのまとまりをもって、学習することができる。

## ■期待される効果

## 必要なとき、すぐに、少人数指導を実現

- 教室での一斉授業の形態から、習熟度に応じた学習、グループ学習などにすぐに切り替えることができる。加えて、少人数がまとまりをもって体験的な学習をすることができる。

特別の支援を必要とする  
子どもたちのためのスペースにも活用

- 教室の近くに音を仕切ることのできる空間があることで、普通学級に在籍している特別な支援を必要とする子どもが落ち着きを取り戻す空間としても活用することができる。



写真3-1 普通教室とは異なる雰囲気の小空間 (広島県府中市立府中小学校・府中中学校)

## ■計画のポイント

## 普通教室からの利用しやすさ

- 少人数指導等に利用できる小空間を普通教室に隣接させたり、すぐに足を伸ばせる間近な場所に配置したりすることにより、授業の中でも活用しやすくなる。

## 居場所にできる空間

- 子どもたちがその時々の状態に応じて居場所にできる、デンのような空間とすることも考えられる。



写真3-2 廊下に面したデン (福井県鯖江市立中河小学校)



写真3-3 特別の支援を必要とする子どものための専用スペース (長崎県佐世保市立清水小学校)

## 音のコントロール

- 周囲と音を仕切ることが可能な空間を、多目的スペースの内部などに計画しておくと、使い勝手が良い。

## 親密さを感じられるつくり

- 広さに見合った低めの天井高さにしたり、ベンチ、窓・開口部を設けたり、木材を利用したたかみのある空間にしたりすることで、普通教室の環境とは異なる雰囲気を持たせることも考えられる。

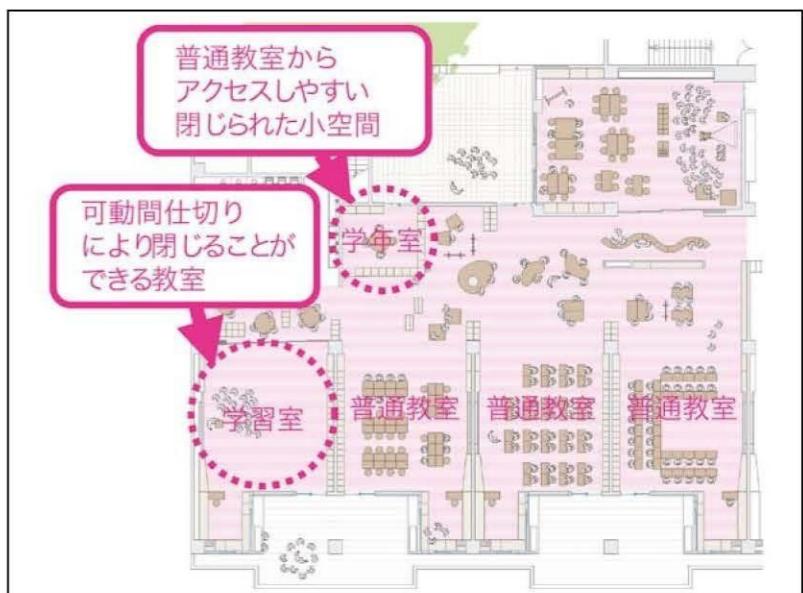


写真3-1 少人数指導のための小空間と普通教室との位置関係 (東京都武蔵野市立大野田小学校)



写真3-4 多目的スペース内にある小空間 (神奈川県川崎市立はるひ野小学校)



写真3-5 多目的スペースのコーナー (埼玉県戸田市立芦原小学校)



写真3-6 普通教室と連続した小空間 (東京都武蔵野市立大野田小学校)

## ■補足説明

- 特別の支援を必要とする子どもがいる場合には、学習への取組に集中しやすく、また落ち着きを取り戻すための場所にもなる、専用のスペースを設けることも検討する。
- このアイディアで期待される効果を既存校で得るためのものとしては、中学校において、余裕教室を区切り半分ずつ使って外国語の授業の少人数指導を行っている例がある。

## ■効果的に利用するための注意点

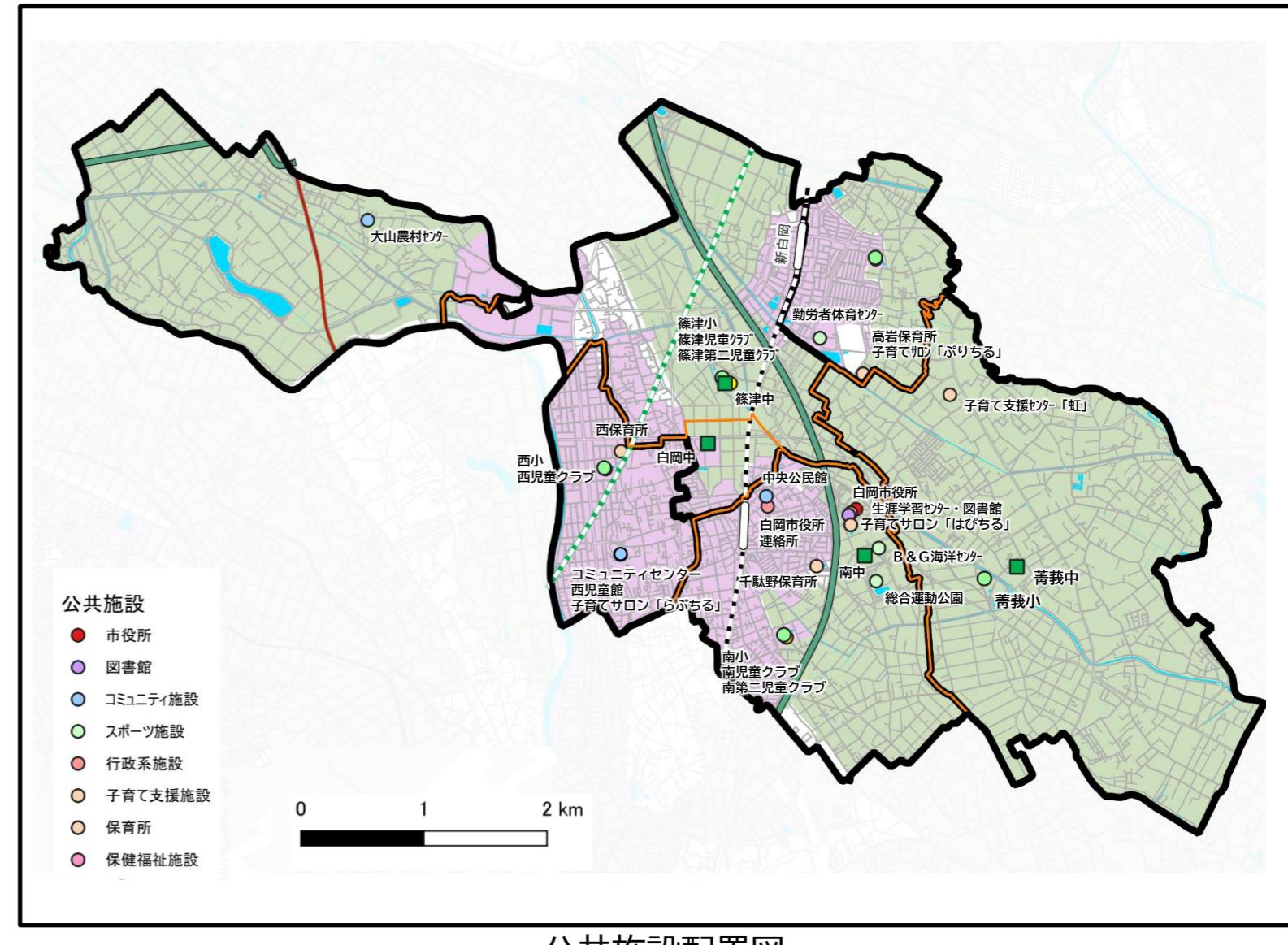
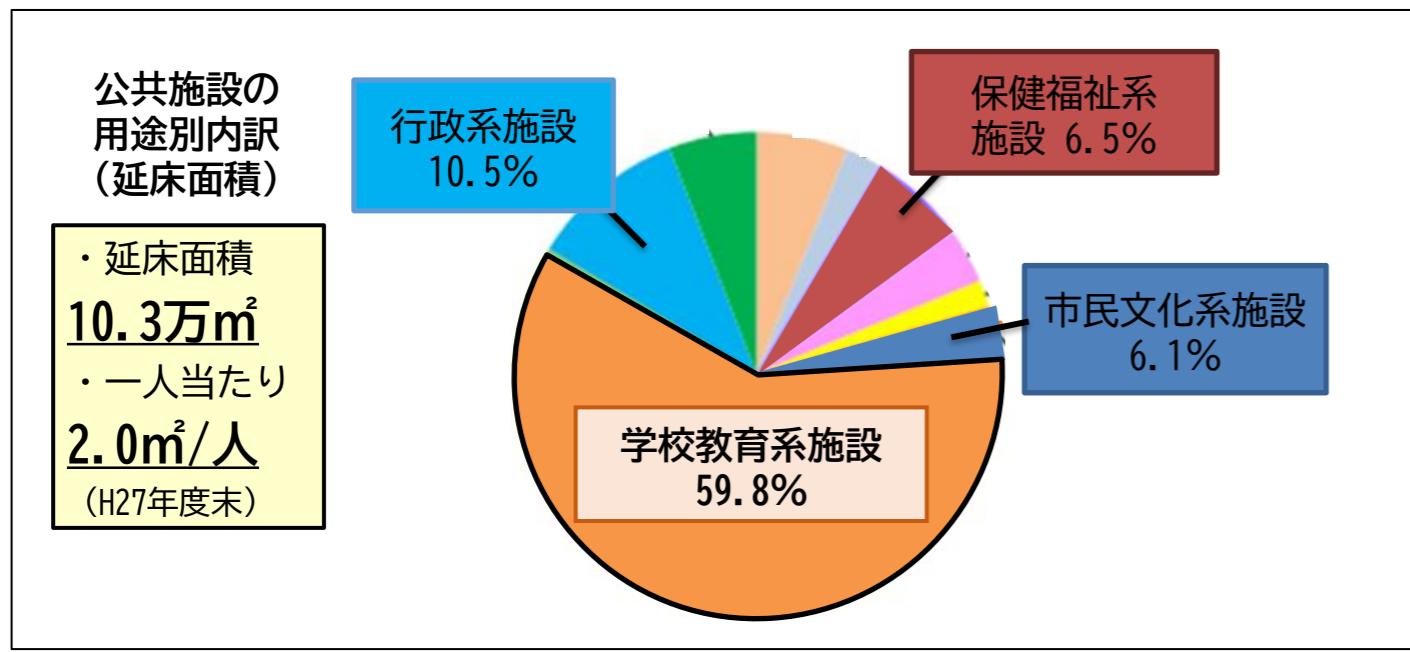
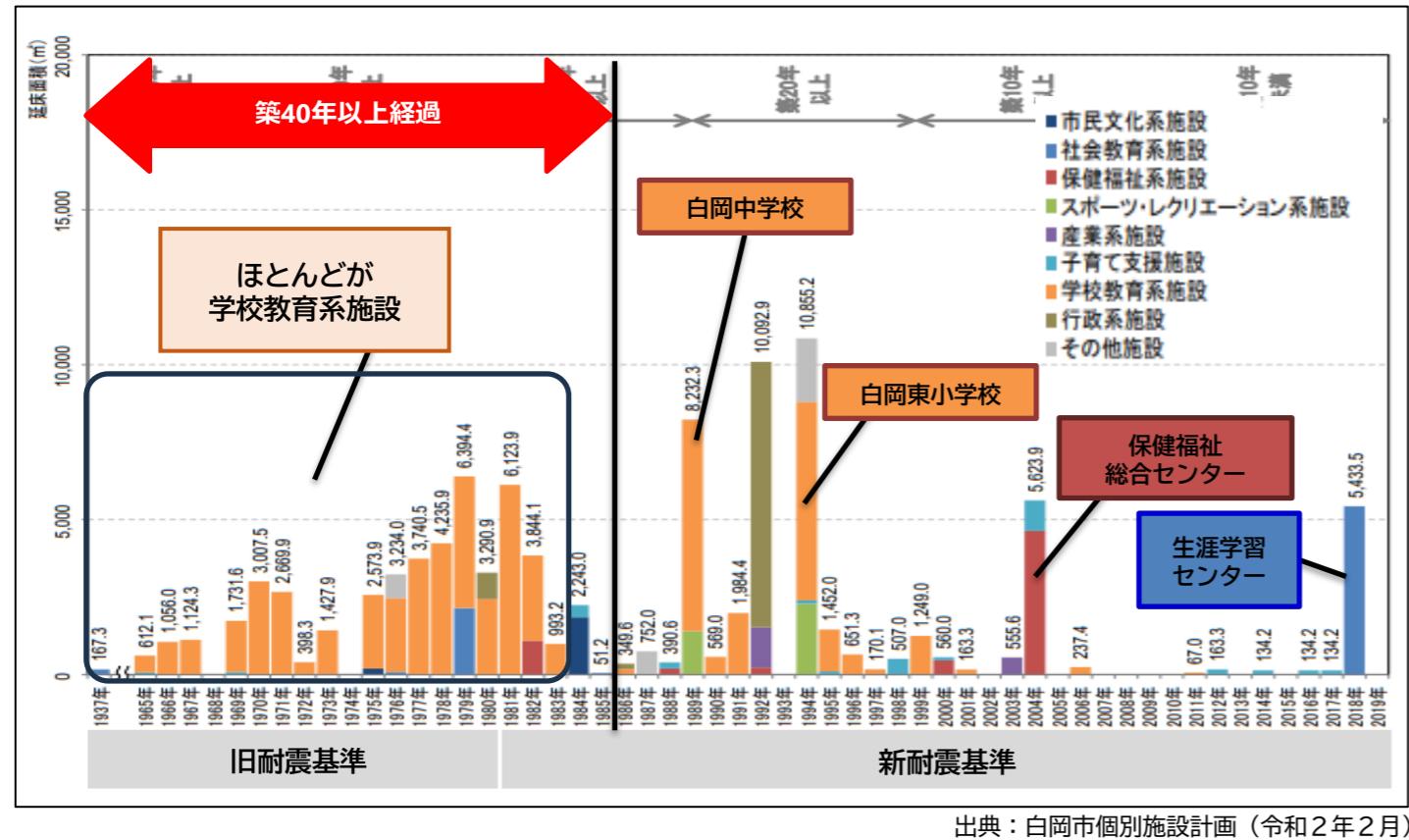
- 使用予約や整理整頓のルールをつくり、必要なときに良好な状態で使えるようにしておく。

## ⑤ 今後の方針性（案）

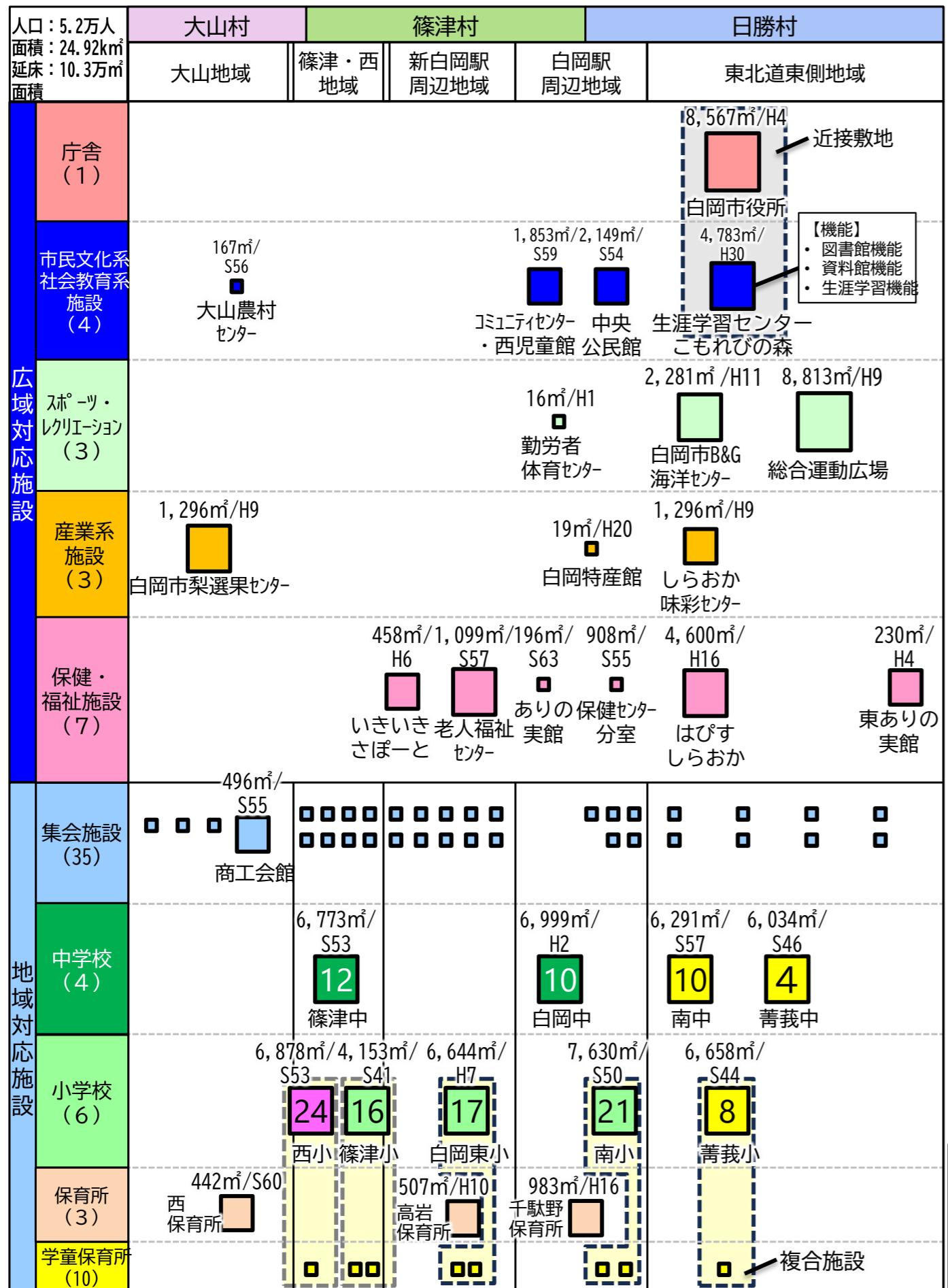
- ✓ 老朽化対策や大規模改修など築年数に応じた整備を実施する。
- ✓ 学校再編を含め、施設の整備レベルを見直し、施設の機能向上による学習環境の充実を図る。

## ① 現状と課題

- 建築年別の整備状況は、1970 年代から 1990 年代にかけて多くの施設が整備されており、築40年以上を経過している施設のほとんどを学校教育系施設が占めている。
  - 小中学校のうち、中学校は白岡中学校を除く3校、小学校は白岡東小学校を除く5校で、築40年以上が経過している。
  - 公共施設の延床面積10.3万m<sup>2</sup>一人当たり2.0m<sup>2</sup>/人(H27年度末)
  - 公共施設全体の延床面積に占める学校教育系施設の割合は、約60%である

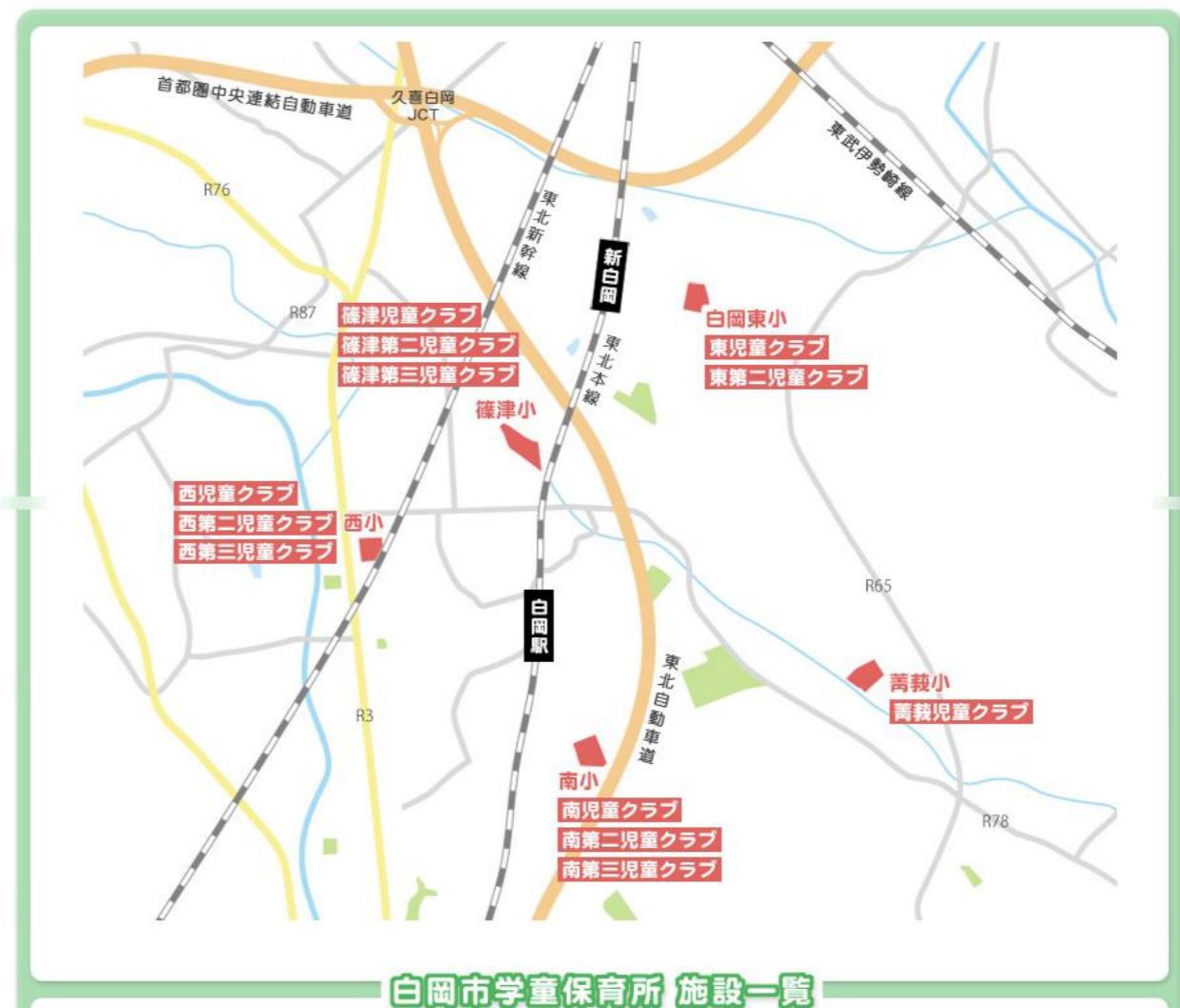


«白岡市地域実態マップ»



## ② 現状と課題 (学童保育所、放課後子ども教室)

項目	現状と課題
学童保育所	<ul style="list-style-type: none"> <li>学童保育所は、全小学校内で設置されてるが、いずれも定員を超えて利用されている。</li> <li>南小学校のように、敷地内に別施設を建設する例と、菁莪小学校のように校内の余裕教室を転用して設置する例がある。</li> </ul>
放課後子ども教室	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者の就労等を条件としない放課後の児童の居場所づくりを実施している学校（菁莪小学校、白岡東小学校、篠津小学校で実施）があるが、毎日常設されている事業は現在のところない。</li> <li>利用教室は、多目的教室等を使用して活動している。</li> </ul>



## ③ 今後の方針性（案）

- ✓ 市長部局と連携しながら、学校施設と集会施設、学童保育施設などの公共施設の複合化・共用化を推進し、学校を地域の学び、交流などの拠点として活用する。

## ① 現状と課題

項目	現状と課題
施設状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校は全てにプールが設置されており、中学校はプールが設置されていない。</li> <li>プール施設の経年状況は学校によってさまざまで、小学校2校では建設から40年以上が経過している一方で、老朽化していない学校もある。</li> </ul>
利用状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校プールの稼働率は40～45%程度にとどまっており、9月にも予備日を設ける前提であれば、小学校2校間でのプール施設の共用化が可能である</li> </ul>

小学校	プール基礎情報							使用日数 (R6)	設備(ろ過装置)		車椅子利用	年間使用量(R6)		水道料金 (円)(R6)	児童数 (R6)	全学級計 授業回数	
	建設年度	経過年数 (R6)	直近改修年度	構造	塗装	長さ (縦×横)	水深		改修年度	ろ過方式		電力 (kWh)	水道(m <sup>3</sup> )	全体			
篠津小学校	2000	25		FRP	ゲルコート樹脂仕上げ	25m×15m	0.9～1.1	15	2000	珪藻土	不可	不明	640	140,072	480	2,569	38
菁莪小学校	2001	24		FRP	ゲルコート樹脂仕上げ	25m×15m	0.7～1.1	11	2001	珪藻土	不可	不明	698	151,932	334	1,439	43
南小学校	1978	47	2001	防水モルタル金ゴテ	エキボシ塗装	25m×15m	0.7～1.1	19	1994	珪藻土	不可	不明	1,034	227,553	671	3,723	40
西小学校	1979	46	2001	防水モルタル金ゴテ	プールコートマイルド	25m×15m	0.6～1.1	20	2001	珪藻土	不可	不明	851	196,155	758	7,554	67
白岡東小学校	1995	30		FRP	ゲルコート樹脂仕上げ	25m×15m	0.7～1.1	28	1995	珪藻土	不可	不明	1,169	250,337	497	8,426	117

- 小学校5校のうち、築40年経過の2校は改修を実施している。

- 築40年以上が経過しているプールは、児童生徒数の規模が大きい2校となっている。

## ② 今後の方向性（案）

- 学校間のプールの共用化に加え、近隣の民間プールなどの利用も視野に入れ、効率的かつ持続可能な学校運営を実現できるよう検討する。

## ① 現状と課題

項目	現状と課題
学校の給食方式	<ul style="list-style-type: none"> <li>本市は、全て自校式給食となっている。</li> <li>学校給食は民間委託で運営されており、委託業者の職員が調理にあたっている。</li> </ul>
施設の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校の給食室は、白岡東小学校を除く4校で築40年以上が経過しており、設備もウェット式となっている。</li> <li>設備・衛生面では、築40年未満の学校5校のみがドライ式の床となっており、小学校1校を除き中学校である。</li> </ul>

## ② 今後の方針性（案）

- ✓ 学校再編も踏まえ、給食方式のあり方について今後も検討していく。

## ■ 給食室（施設）

学校名	使用ガス種	設置年度	西暦	築年数	耐震基準	改造年度	構造	面積(m <sup>2</sup> )	方式	建物等	エアコン設置状況						汚染・非汚染区分分け	調理者休憩室			アレルギー対応			
											ドライ・ウェット	併設・独立	調理	洗浄	下処理	配膳室	食品	休憩	事務	(台数)	有無	トイレ	トイレ内手洗い	
篠津小学校	LP	S54.3	1979	46	旧耐震		R	186	ウェット	独立型					1		1			実施	有	有	無	対応済
菁莪小学校	LP	S53.1	1978	47	旧耐震		S	214	ウェット	独立型					1		1			実施	有	有	無	対応済
南小学校	LP	S52.11	1977	48	旧耐震		S	213	ウェット	独立型					1		1			実施	有	有	無	対応済
西小学校	LP	S53.8	1978	47	旧耐震		S	240	ウェット	独立型					1		1			実施	有	有	無	対応済
白岡東小学校	都市	H7.3	1995	30	新耐震		R	266	ドライ	独立型					1		1			実施	有	有	無	対応済
篠津中学校	LP	H4.3	1992	33	新耐震	H20	R	269	ドライ	独立型					1		1			実施	有	有	無	対応済
菁莪中学校	LP	H2.12	1990	35	新耐震		R	223	ドライ	独立型					1		1			実施	有	有	無	対応済
南中学校	LP	H2.12	1990	35	新耐震		R	268	ドライ	独立型					1		1			実施	有	有	無	対応済
白岡中学校	LP	H2.3	1990	35	新耐震		R	297	ドライ	独立型					1		1			実施	有	有	無	対応済